



国際ロータリー 第2780地区 第9グループ  
湯河原ロータリークラブ 週報



2022年12月16日(金) 第2901回例会 形式:対面 天候:晴れ  
合唱:それこそロータリー

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

青木 義美

今日は来月予定されている IM の PR で、柴崎 AG はじめお三方がビジターでおいで頂いています。丸塚会員が毎月実行委員会に出席されて準備をすすめております。後程ご挨拶がありますので宜しくお願い致します。

さてところで、ロータリアンで、世界で一番有名な人、皆さん知ってますか。

柴崎 AG はジェニファーさんの次くらい有名でしょうか？それは KFC のカーネルサンダースことハーランドサンダースさんです。この人を知らない人はいないと思いますが、彼がロータリアンで、あの人形がロータリーバッジを着けている事を知っている方は少ないと思います。

更に彼はロータリーの4つのテストを引用して、社訓に次の4つを掲げています。

そのビジネスに嘘偽りはないか

そのビジネスに関係する全ての人に公平か

そのビジネスは良好な人間関係を作っているか

そのビジネスに関係する全ての人に有益なものか

だそうです。

彼以外だとダグラスマッカーサーやJFケネディーがロータリアンです。

今度KFCへ行ったらロータリーバッジを確認されて下さい。

ゲスト

神奈川県・県西地域県西総合センター 企画調整部部长 磯崎孝喜 様

ビジター

柴崎正三君(第9グループガバナー補佐・小田原北RC)

須藤公司君(第9グループIM実行委員長・小田原城北RC)

石崎健太郎君(第9グループIM実行委員会副委員長・小田原城北RC)

連絡事項

1.次週はクリスマスケーキを配布いたします。御欠席なさらないうようお願い致します。

幹事報告

ガバナーより

1.「職業奉仕」卓話者派遣についてのお知らせ

卓話日:1月20日(金)12:30~13:30

<卓話者>

氏名: 島村 盛晶(寒川 RC)職業奉仕委員

連絡先:shimamura-s@gl-m.co.jp

※事前に必ず卓話者ご本人と直接卓話方法、集合時間、場所、卓話の内容などの打ち合わせをしていただきますようお願いいたします。

2.2023-24実施年度向け第2回地区補助金説明会/補助金管理セミナーご案内

日時:1月28日(土)14:00~17:00

※地区補助金説明会は、16:00終了予定

※説明会終了後、合同個別相談会8F/補助金管理セミナーを6階で開催いたします。

場所:JR藤沢駅南口 第一相澤ビル6・8階会議室

回答期限:1月16日(月)

出席報告

会員	23 名	出席率	75.00 %
欠席	8 名	前回の修正出席率	80.95 %
(免除者)	3 名)	前々回の修正出席率	75.00 %
ゲスト	1 名	事前メイクアップ	0 名
ビジター	3 名		

結婚記念日 渡辺久恭君(12/20)

柴崎正三君(第9グループガバナー補佐・小田原北RC)

本日はIM・合同例会のお知らせとお願いに伺いました。どうぞ宜しくお願い致します。

須藤公司君(第9グループIM実行委員長・小田原城北RC)

本日はIMのPRに伺いました。よろしく願い致します。

石崎健太郎君(第9グループIM実行委員会副委員長・小田原城北RC)

本日はおじゃま致します。IM合同例会よろしく願い申し上げます。

青木義美君・伊藤伸之君

柴崎ガバナー補佐及び須藤IM実行委員長、石崎様ようこそ。

御指導宜しくお願い致します。



卓話前、柴崎ガバナー補佐、須藤 IM 実行委員長、石崎 IM 実行委員会副委員長より、本年度 IM 開催についてのご挨拶がありました。

卓話 高杉 尚男 君

代講 県西地域県政総合センター 企画調整部  
部長 磯崎 孝喜 様



皆様こんにちは。今回は貴重な機会を賜り、ありがとうございます。私達、神奈川県の県西地域県政総合センター企画調整部では、県西地域(小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町の2市8町)の活性化、地域振興

について取り組んでおります。

さて、これまで2市8町と県、団体や企業で構成する「県西地域活性化推進協議会」では、平成26年3月「県西地域活性化プロジェクト」を策定し、「未病の改善」をキーワードに、多彩な地域資源を有する県西地域の魅力を生かしつつ、超高齢社会に立ち向かうための新たな活力を生み出す取り組みを実践して参りました。その結果「未病の改善」という考え方は県西地域全体に広がり、未病コンセプトに基づく施設の整備が進むなど、新たな賑わいも生まれました。今回はこれまでの活性化プロジェクトを踏まえつつ、新たな時代に合わせて改定した新たなプロジェクト「時代をリードする贅沢なくらし『かながわ県西ライフ』～新たな日常×未病改善のライフスタイル」について説明いたします。

・取組みの重点とプロジェクトの構成

改定後のプロジェクトでは、「移住・定住の促進」「関係人口の創出」「交流人口の増加」の3つに重点をおいて取組みを進めて参ります。また、めざすがたの実現に向けて、くらしを「住む」「働く」「楽しむ」「育む・学ぶ」の4つのシーンに区分し、さらにコロナ禍で損なわれがちな交流を活性化する観点から「つながる」を加えた合計5つの分野を柱とした、合計12のプロジェクト(下記)に取り組めます。

住む	「新たな日常」を踏まえた移住・定住の促進強化
	未病改善ライフスタイルの確立
	持続可能な循環型の地域づくり
働く	多様な働き方ができる地域づくり
	地域の魅力を生かした仕事の再発見
	くらしを支える仕事と産業の基盤づくり
楽しむ	地域のオンリーワンの魅力を生かした観光の促進
	「新たな日常」を踏まえ楽しみ方の推進
育む・学ぶ	地域資源を活用した多様な学びの提供
	地域の担い手の掘り起こし
つながる	人的ネットワークを活用した課題対応力の向上
	交通ネットワークの整備・活用の推進

プロジェクトの計画期間は令和3(2021)年度から令和5(2023)年度までの3年間とし、プロジェクトの指標として「県西地域2市8町の社会増減数の目標値(2023年)を2019年比で+500人」と設定しています。詳しくはお手元に配布した資料をご確認ください。

本日はありがとうございました。

(文・編集:常盤孝司(12月会報担当)／クラブ会報委員会)